

令和5年度枚方寝屋川消防組合予算

企画戦略課

1 令和5年度予算の基本的な方針

新しい生活様式や働き方改革が求められている中、令和5年度は本消防組合の最上位計画である「第5次将来構想計画」をスタートさせる年度となります。

with コロナからアフターコロナへとステージがシフトしていく時代において、変化する社会情勢に立ち遅れることなく、持続可能な消防体制を確保し、市民のみなさんが「安全・安心」を実感できるまちを目指すものです。

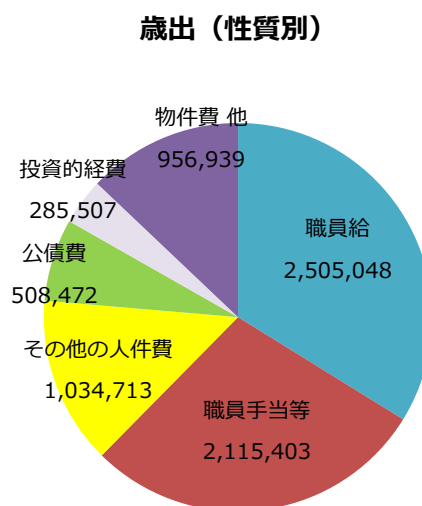
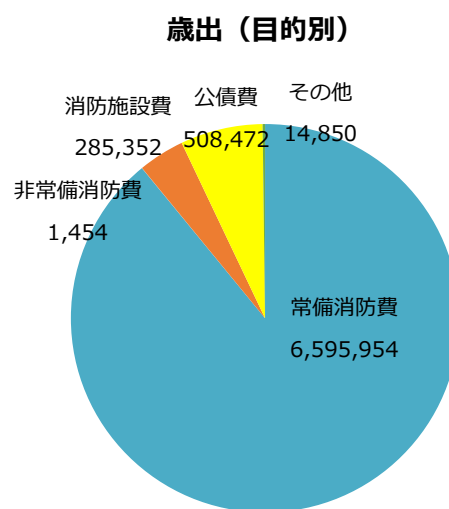
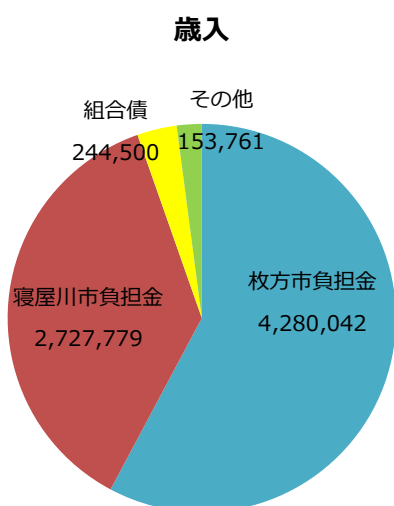
2 歳入歳出総額

(1) 歳入歳出総額

74億608万2千円

前年度比1.5%（1億1,085万6千円）増

(2) 歳入歳出内訳（単位：千円）



(3) 解説

- ・義務的経費のうち、定年延長の影響により令和5年度の定年退職者が0人のため職員

手当が大きく減となり、前年度と比べ人件費総額5,191万2千円の減となっています。

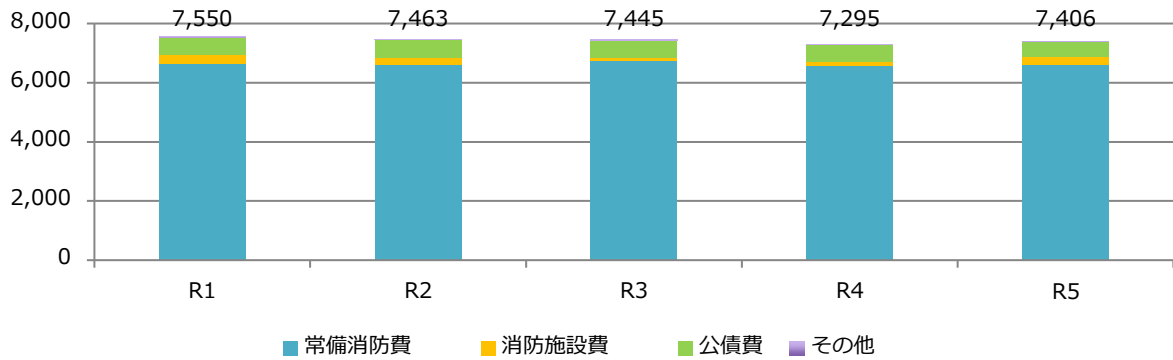
- ・公債費については、平成27年度から30年度に借り入れた償還終了分と令和3年度に借り入れた償還開始分により、6,984万4千円の減となっています。
- ・投資的経費では、車両更新6台（前年度比3台増）や冷暖房機取替工事等により1億7,087万7千円の増となります。
- ・その他の経費のうち物件費は、前年度に比

べ4,387万1千円の増となっています。これは、主に電気単価の値上げやガソリン単価の高騰などによるものです。

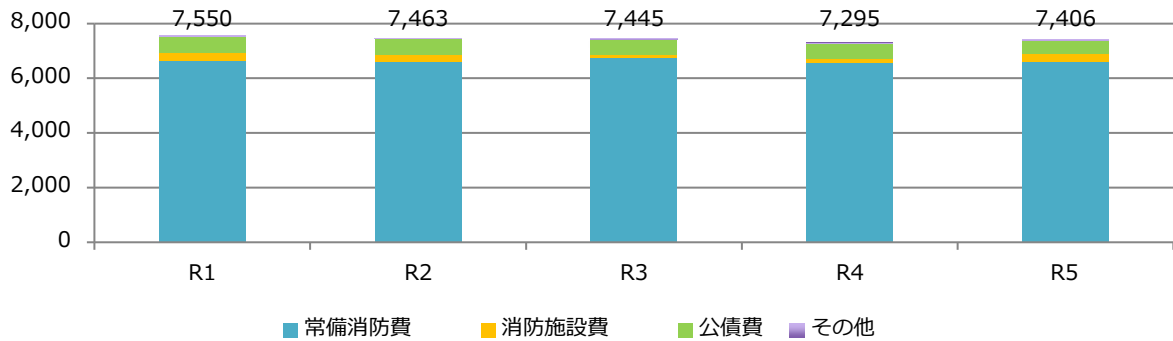
- ・補助費等は、消防ヘリコプター運営補助金及び救急安心センター負担金の増額により、前年度に比べ1,311万9千円の増となっています。

3 予算の推移（単位：100万円）

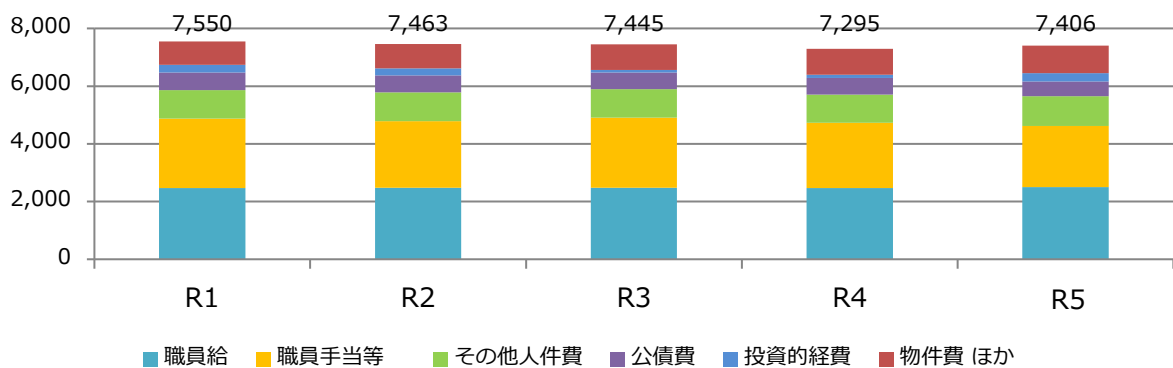
「歳入の推移」



「歳出（目的別）」



「歳出（性質別）」



4 令和5年度主要事業

(1) 主力消防車両の更新

本消防組合の車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車3台、救急車3台を更新します。



- ・枚方本署タンク
- ・三井タンク
- ・神田タンク



- ・枚方本署救急
- ・楠葉救急
- ・三井救急

令和5年度予算

車両整備 256,107千円

(2) 消防力適正配置等調査委託

本消防組合の将来の消防力を検討するために、両市の人口推計等のデータ、過去の災害出動件数のデータや救急出動のデータ（町丁別、事故種別・症度別・年齢区分別・時間帯別など）を基に、2040年までの救急需要予測及び消防力の適正配置等の調査を民間調査会社等に委託します。

検討課題

- ・第5次将来構想計画で予定している救急隊の増隊や救急車の適正配置、民間救急の活用など救急需要対策について検討が必要。
- ・昼間帯・夜間帯に応じた救急隊の適正配置やローテーションなど救急隊員の労務管理について検討が必要。
- ・人口や火災件数の減少などを踏まえ、消防車など消防車両の必要数や配置などについて検討が必要。
- ・今後の両市の人口推計などを踏まえて、施設、人員、車両など消防力の適正配置について検討が必要。



令和5年度予算

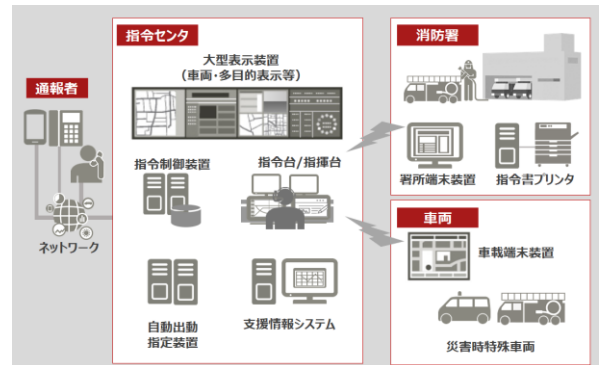
消防力適正配置等調査委託業務

5,764千円

(3) 消防情報システムの更新

平成27年度に整備した消防情報システムは令和7年度で運用開始から10年となります。

令和8年4月の消防情報システムの更新に向けて、調達支援業務を委託します。



令和5年度予算

システム調達支援業務委託 21,000千円

※負担割合については交野市と協議中

(4) 電子申請サービスの運用

消防関係法令の申請・届出を市民・事業所がいつでも・どこでもできるように電子申請の環境を整備します。火災予防・危険物関係の申請・届出から電子申請を開始し、その後、申請・届出の対象範囲を拡大します。



令和5年度予算

電子申請サービス利用料 1,162千円

